

事故防止ワンポイント

○一般的な注意事項

こどもの特性

- ◇ こどもは何でも興味をもちます。
- ◇ こどもは何でも口に入れます。
- ◇ こどもは何でも覗き込みます。
- ◇ こどもはその成長に応じ行動範囲が広がります。
- ◇ こどもの事故は、行動範囲が広くなるほど大きな事故になります。

○事故防止の対策

おうちの中をチェック！

- ◇ こどもの目の高さで危険の有無をチェックする。
- ◇ 窒息の恐れがあるので、柔らかい布団などの上には寝かさない。
- ◇ 8ヶ月位から、小さな物を上手につまみ、誤飲が多くなるので床の上のボタン、小さな部品など落ちていないか注意する。
- ◇ 飴、キャラメル、ゼリー、豆腐なども誤飲、窒息の原因となるので注意する。特にピーナッツ、節分の豆は危険。

- ◇ 手が届くところに誤飲の原因となるもの（タバコ、コイン、化粧品など）を置かない。
- ◇ 手が届くところにけがの原因となるもの（カミソリ、はさみ、ナイフなど）を置かない。
- ◇ やけどの原因となるポットや炊飯器などは手の届かない所に置き、しっかりとふたをしめる。
- ◇ 風呂やトイレのふたは閉め、ドアも簡単に開けられないようにする。
- ◇ こどもの小さなうちは、風呂の残り湯を残さない。
- ◇ 風呂や洗濯機の周りに、足場になるようなものは置かない。
- ◇ ベランダに踏み台になるようなものは置かない。
- ◇ テーブルクロスは引っ張って危険なので注意する。

外出時の注意

- ◇ こどもは急に動き出すので、必ず手を握っておく。
- ◇ 階段では昇る時はこどもが先、降りる時はこどもが後で親が先。
- ◇ 親が思いつかないような遊び方、使い方をするので、慣れた道具でも目を離さない。
- ◇ チャイルドシートはしっかりとする。

- ◇ こどもが乗っている側の自動車のドアや窓は、ロックをする。
- ◇ 自動車から降りるときは、大人の人にこどもを降ろし、飛び出しに注意する。